

# mitsubishi

## 三菱カーナビゲーションシステム

形名

## NR-MZ40 シリーズ

## 取扱説明書

### ごあいさつ

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくために、また安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」・「取付要領書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

「取扱説明書」はお読みになった後、「保証書」と共にいつでも見られるところに大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ご覧ください。本製品を譲られるときは、次に所有される方のために本製品に、本取扱説明書を付けてお譲りください。

本製品の機能を十分ご理解いただけるようにすべての機能<sup>\*1</sup>を詳しく説明した取扱説明書（詳細版）は、当社ホームページよりご覧いただけます。<sup>\*2</sup>

URL : <http://www.mitsubishielectric.co.jp/carele/>

\*1 機種によっては、使用できない機能もあります。

\*2 閲覧時の通信料は、お客さまのご負担となります。



Premi DIA



# ご使用前に

## 免責事項について

- ・火災、地震、津波、洪水などによる自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・お客さま、または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報（登録地など）や録音した音楽データが変化・消失した場合、その内容の補償はできません。大切な情報は万一来に備えてメモなどを取っておくことをおすすめいたします。
- ・本製品に入力した個人情報（登録地の住所や電話番号など）は本機を取り外してもメモリーに残っている場合があります。他人に譲り渡し、または処分などされる際は、プライバシー保護のため個人情報の取り扱い、管理（消去など）は、必ずお客さまの責任において行ってください。三菱電機は一切の責任を負いません。  
本製品を譲渡または廃棄される場合には、「メモリ初期化」の[本機の初期化]をすることをおすすめします。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・表示される地図はデータ作成時点の関連で現状と異なる場合がありますので、ご了承ください。また、地図データ不備による損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・本製品には交通規制データが収録されていますが交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。なお、交通規制データ不備による交通事故や交通違反の損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。

- ・地図データの不備などで返品・返金・交換・改造などはできかねます。地図データがお客さまの特定の目的に適合しない場合があります。地図データの内容は予告なく変更される場合があります。地図データは誤字・脱字・位置ずれなどがある場合があります。
- ・ルート案内や右左折などの音声案内時、実際の標識や交通規制と異なる案内をする場合があります。必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。
- ・仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。そのため取扱説明書の内容と異なる場合がありますが返品・返金・交換・改造などはできかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本取扱説明書では数種類の機種内容を共用で説明しています。機種によっては記載されていても使用できない機能や別売の機器が必要な場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・取扱説明書で使用している画像やイラストは開発中のものもしくは説明用に作成したものです。実際のものとは異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品に添付の保証書は当該製品をバス、タクシー、トラックなどの車両へ使用した場合、適用対象にはなりません。
- ・本製品に記憶されたお客さまの登録情報など、またすべての情報の変化、消失した場合の損害や不利益について、アフターサービスも含め、三菱電機は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- ・本製品は国内専用です。海外では使用できません。

### ■ 共通

- 操作するために、エンジンをかけたまま車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所に停車しないでください。排気ガスにより、ガス中毒になる恐れがあります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。また、運転者が画面を見るときは必要最小限の時間にとどめてください。画面に気を取られて思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 分解や改造をしないでください。故障や発煙、発火の原因になります。
- 緊急を要する施設（病院・消防署・警察署など）の検索や施設までの案内については、本製品への依存を避け該当施設へ直接問い合わせてください。
- 操作するときは、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンをかけずに本製品を使用し続けた場合、車両のバッテリーが消耗しエンジン始動ができない恐れがあります。必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
- 以下のようなときは、液晶画面特有の現象です。故障ではありません。
  - ≫ 画面に小さな黒点、輝点（赤、青、緑）がある。
  - ≫ 寒冷時など、画面の動きが遅い。
  - ≫ 寒冷地など、画面が暗いときがある。
  - ≫ 画面を見る角度によって、色あいや明るさに違いがある。
- 液晶画面の性質上、見る角度によって画質が異なります。はじめてお使いのときは画質の調整を行ってください。
- 市販の液晶保護フィルムなどを画面に貼るとタッチパネル操作に支障がでる恐れがあります。
- 鋭利なもの（ペン先・つめの先など）でタッチパネル操作を行うと画面に傷が付く場合や損傷して誤動作する場合があります。

- 手袋などを着けたままタッチパネル操作を行うと誤動作の原因となります。
- 画面の汚れを取るときは、やわらかい布で拭き取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。画面を傷つける恐れがあります。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、Rovi Corporationおよびその他の著作権利権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、Rovi Corporationの許可が必要で、また、Rovi Corporationの特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解や改造することも禁じられています。

### ■ テレビ機能

本書は、内蔵の地上デジタルTVチューナーのテレビ機能について説明しています。

#### お知らせ

- 一部の機種は、テレビ機能には対応しておりません。
- 本製品は、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送には対応していません。
- 本製品はデータ放送には対応していません。
- 走行状態により受信異常が発生したときや、移動中に電波の受信状態が悪くなったときには、次のような現象が起きる場合があります。
  - ≫ 映像や音声にノイズが発生する。
  - ≫ 映像や音声途切れる。
- パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させたときには、テレビの受信状態が悪くなることがあります。

## ■ iPod/iPhone 再生機能 (オプション)

- 本機は、iPod/iPhone の音楽や映像の再生に対応しておりますが、いかなるバージョンであっても動作を保証するものではありません。
- iPod/iPhone の機種、バージョンによって動作が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 走行中の操作制限について

走行中は一部操作が制限されます。走行中は運転者の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。  
なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。

## お手入れのしかた

- 本機が汚れたときはやわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた水にやわらかい布を浸し固く絞ってからご使用ください。ベンジンやシンナー、化学ぞうきんは使用しないでください。表面が変質します。

## 商標について

- 「ナビ」、「NAVI」は商標です。
- 製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



ミュージックフォルダは、三菱電機の登録商標です。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「DOLBY」、「ドルビー」およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



PREMIDIA は、三菱電機の登録商標です。



SDHCはSD-3C.LLCの商標です。



VICS ロゴは、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。



ETC ロゴは、財団法人道路システム高度化推進機構 (ORSE) の登録商標です。\*



DSRC ロゴは、一般社団法人 ITS サービス推進機構 (ISPA) の登録商標です。



マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

※ 本製品は ETC/DSRC 車載器対応ナビゲーションのため、ETC 専用車載器には対応していません。

Made for



iPod



iPhone

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、iPodまたはiPhone 専用で接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

iPod および iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

#### iPod



**iPod**  
5th generation  
(video)  
60GB 80GB



**iPod**  
5th generation  
(video)  
30GB

#### iPod classic



**iPod classic**  
160GB (2009)



**iPod classic**  
160GB (2007)



**iPod classic**  
80GB

#### iPod nano



**iPod nano**  
6th generation  
8GB 16GB



**iPod nano**  
5th generation (video camera)  
8GB 16GB



**iPod nano**  
4th generation (video)  
8GB 16GB



**iPod nano**  
3rd generation  
(video)  
4GB 8GB



**iPod nano**  
2nd generation  
(aluminum)  
2GB 4GB 8GB



**iPod nano**  
1st generation  
1GB 2GB 4GB

#### iPod touch



**iPod touch**  
4th generation  
8GB 32GB 64GB



**iPod touch**  
3rd generation  
32GB 64GB



**iPod touch**  
2nd generation  
8GB 16GB 32GB



**iPod touch**  
1st generation  
8GB 16GB 32GB

#### iPhone



**iPhone 4S**  
16GB 32GB 64GB



**iPhone 4**  
16GB 32GB



**iPhone 3GS**  
8GB 16GB 32GB



**iPhone 3G**  
8GB 16GB

※ 「iPod nano 1st generation」、 「iPod nano 2nd generation (aluminum)」、 「iPod nano 6th generation」、 「iPod 5th generation (video) 30GB」、 「iPod 5th generation (video) 60GB 80GB」 は、ビデオ再生に対応しておりません。(音楽再生は可能。)

※ Genius 機能には対応しておりません。

※ iPod および iTunes は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

## お客さまへ安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。



**警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

## **警告**



**禁止**

- **運転者は運転中に、画像を注視しない。**前方不注意となり事故の原因となります。道路交通法により、運転者が走行中に画像を注視することは禁止されています。
- **運転者は走行中に複雑な操作をしない。**  
運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない。**  
カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- **画面が映らない、音がでないなどの故障状態で使用しない。**  
事故、火災、感電の原因となります。
- **本機は DC12V マイナス ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車でのご使用はしない。**火災や故障の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。**発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- **ディスク挿入口やカード挿入口に異物を入れない。**  
火災や感電、故障の原因となります。

## 警告



必ず行う

- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行する。  
本機では交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。  
必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- 運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけて使用する。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う。  
カメラの死角になっている人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- バックする際はゆっくりした速度で運転する。  
カメラの画像は目視と距離感が異なるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な臭いがするなど異常が起こったら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。  
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。  
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



分解禁止

- 本機を分解したり、改造しない。故障、火災、感電の原因となります。



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線やフロントパネルに触れない。  
落雷により感電の原因となります。

## 注意



禁止

- 本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。  
通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、発火や故障の原因となることがあります。
- カメラ本体に無理に力を加えたり、高圧洗車は行わないでください。  
カメラが外れたり、角度がずれて故障や事故の原因となることがあります。



注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。  
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なります。注意してご使用ください。  
事故の原因となることがあります。



必ず行う

- モニターパネルの開閉や角度調整時に、シフトレバー操作などの妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

## 注意



指に注意

- ディスク挿入口やカード挿入口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。
- モニターパネルの開閉や角度調整時に、手や指を挟まれないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

### ■ 取付・配線時などのご注意

## 警告



禁止

- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けません。交通事故やけがの原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機を取り付けと配線しない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しない原因となり危険です。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止めます。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと制動不能や発火、事故の原因となります。



注意

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触しないよう注意して行う。誤った穴開けをすると火災の原因となります。



必ず行う

- 取り付け作業前には、バッテリーのマイナス  $\ominus$  端子を外す。ショート事故による感電やけがの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ウィンカーなどの電装品が元通り、正常に動作することを確認する。正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。
- 必ず、パーキングブレーキ線を接続する。(安全機能)  
走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっています。



## 注意



禁止

- 本機のシャーシ上部を強く押さないでください。  
本機のシャーシ上部が変形すると、ディスクの挿入や排出ができなくなります。



注意

- 車体やねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。  
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。  
コード類が車体の高温部に接触すると被膜が破れショートし、火災、感電の原因となることがあります。



必ず行う

- 落下などによる、強い衝撃を与えないでください。  
機器の故障、けがなどの原因になることがあります。付属のネジなどでしっかりと固定してください。
- 本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。  
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。  
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。
- 取付要領書で指定された通りに接続してください。  
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動する原因となることがあります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 他の機器と接続する場合は、各機器の取扱説明書も併せてよくお読みの上、正しくお使いください。
- 携帯電話を使用する場合は、携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。
- 本製品を廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

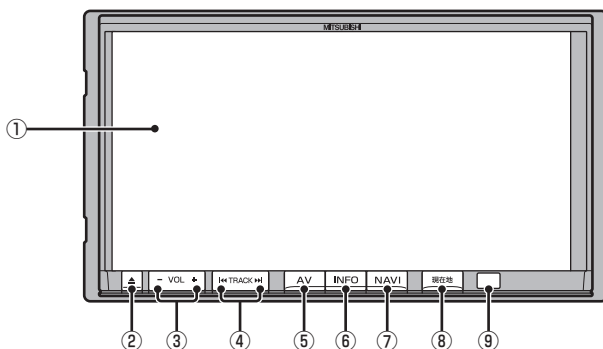
# 基本操作

## 本機について

### 本体パネルについて

本体パネルの各部の名称と働きについて説明します。

#### ■ パネルが閉じているとき



#### ① ディスプレイ

このディスプレイに表示されるタッチスイッチにタッチすることで、ほとんどの操作が行えます。

#### ② ▲ キー

モニターパネルの開閉画面を表示します。パネルを開閉するときや、ディスクを出し入れをするときに使います。

#### ③ -VOL | キー / VOL + | キー

オーディオ機能の音量を調節することができます。

#### ④ ◀TRACK | キー / TRACK▶▶ | キー

CDなどのトラックやラジオの選局が行えます。また、DVDのチャプターの切り換えが行えます。

#### ⑤ AV | キー

AVメニューを表示します。オーディオソースを選ぶときに使用します。→「AVメニュー」(P12)

#### ⑥ INFO | キー

INFOメニューを表示します。情報確認や各種設定を行うときに使用します。

#### ⑦ NAVI | キー

NAVIメニューを表示します。ナビゲーションの各機能をご利用になれます。→「NAVIメニュー」(P12)

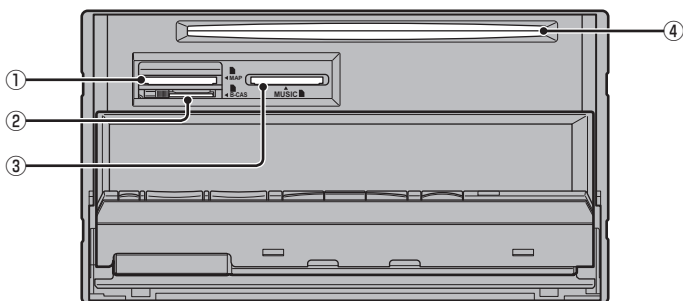
#### ⑧ 現在地 | キー

ナビゲーション画面の現在地画面を表示します。

#### ⑨ リモコン受光部

別売のドライビングリモコンの信号を受光します。

## ■ パネルが開いているとき



### ① MAP スロット

ナビゲーション機能のための地図データが納められた地図カードを挿入します。別売の上位バージョンの地図カードと本体の地図カードを交換することでナビ機能のバージョンアップを行うことができます。

### ② miniB-CAS カード挿入口

miniB-CAS カードを挿入します。

※ 付属の miniB-CAS カード以外のものを入れないでください。

一部の機種は、miniB-CAS カードは付属していません。

### ③ MUSIC スロット

音楽用 SD カードを挿入します。音楽用 SD カードの再生や MusicFolder への録音<sup>\*1</sup>が行えます。また、地図データを更新することもできます。

### ④ ディスク挿入口

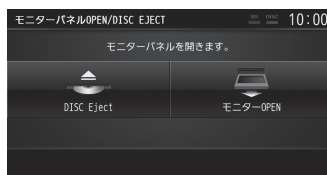
本機で再生可能なディスクを挿入すると、再生を開始します。

※ 1 一部の機種は、MusicFolder の録音機能に対応していません。

## モニターパネルの開閉について

### 1 ▲ キーを押す

### 2 モニター OPEN にタッチする

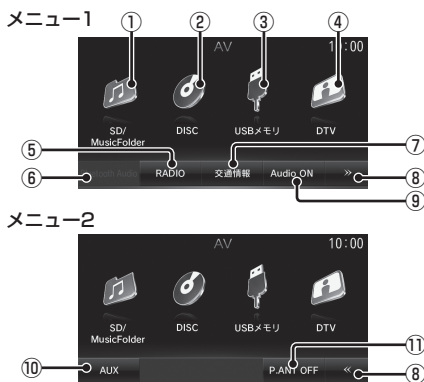


▼  
パネルが開きます。

DISC Eject	ディスクを取り出すときに使用します。
モニター OPEN	ディスクや SD カードを挿入するときなどに使用します。

# メニュー画面について

## AV メニュー



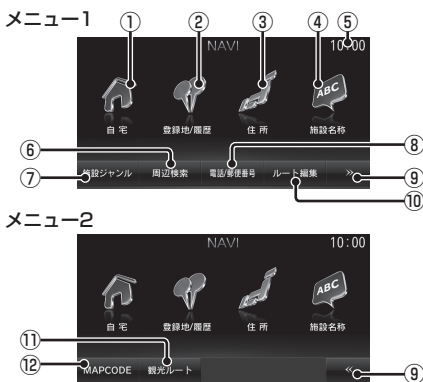
メニュー-2



- SD/MusicFolder**  
音楽用 SD カード内の音楽ファイルを再生できます。また、SD カードに音楽 CD の曲を録音<sup>\*1</sup>し、再生することができます。
- DISC**  
本機に挿入された各メディアの再生を行います。
- USB**  
iPod が本機に接続されていれば **iPod** に、USB デバイスが本機に接続されていれば、**USBメモリ** に変わります。タッチすると各画面を表示します。
- DTV** <sup>\*1</sup>  
地上デジタルTV放送をご覧になることができます。
- RADIO**  
ラジオ機能をご利用になれます。
- Bluetooth Audio**  
本機では、ご使用になれません。
- 交通情報**  
交通情報機能をご利用になれます。
- << / >>**  
メニュー 1 またはメニュー 2 を表示します。
- Audio OFF / Audio ON**  
オーディオ機能の ON/OFF が行えます。
- AUX**  
外部入力機器の映像を表示します。
- P.ANT OFF / P.ANT ON**  
アンテナ電源端子からの電源供給を ON/OFF することができます。

<sup>\*</sup>1 一部の機種は、対応していません。

## NAVI メニュー



メニュー-2



- 自宅**  
自宅を登録することができます。また、登録した自宅を目的地に設定することができます。
- 登録地/履歴**  
登録地 / 検索履歴を呼び出します。
- 住所**  
住所から場所を探します。
- 施設名称**  
施設の名称を入力し場所を探します。
- 時計**  
24 時間制で現在時刻を表示します。
- 周辺検索**  
現在地や目的地、ルート周辺の施設を探すことができます。
- 施設ジャンル**  
コンビニやガソリンスタンドなど、分類ごとに場所を探することができます。
- 電話/郵便番号**  
電話番号や郵便番号を入力して施設を探すことができます。
- << / >>**  
メニュー 1 またはメニュー 2 を表示します。
- ルート編集**  
設定済みのルートを編集や削除するときに使用します。
- 観光ルート**  
観光コースを都道府県ごとに探し、ルートを設定します。
- MAPCODE**  
探している場所のマップコードが分かっている場合に使用します。

# AV 機能を使う

## ラジオを聴く

FM 放送や AM 放送のラジオの聴きかたについて説明します。

### 1 **AV** キーを押す

AV メニューを表示します。

### 2 **RADIO** にタッチする

ラジオの再生情報画面を表示します。

### 3 聴きたい“放送の種類”にタッチする



### 4 **▽ TUNE ▲** にタッチして選局する



選局した周波数の音声の流れます。

## 音楽 CD を聴く

音楽 CD (CD-DA/CD-TEXT) の聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。

また、工場出荷時の設定であれば本機に音楽 CD 挿入後、[開始する]にタッチすることで MusicFolder への録音を開始します。

### お知らせ

- 一部の機種は、MusicFolder の録音機能に対応していません。
- 音楽 CD を本機に挿入した状態で操作してください。

### 1 **AV** キーを押す

AV メニューを表示します。

### 2 **DISC** にタッチする

音楽 CD の再生情報画面を表示します。

### 3 **◀ TRACK ▶** キーを押して曲を選ぶ

選んだ曲を再生します。

### アドバイス

- ◀ TRACK ▶** キーまたは **TRACK ▶▶** キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

## テレビを見る

本機内蔵の地上デジタルTVチューナーでは、フルセグ放送およびワンセグ放送をご覧になります。

### お知らせ

- 一部の機種は、テレビ機能には対応していません。

## ■ はじめてテレビを見るとき

### (ホームCHスキャン)

はじめてテレビを見るときは、最初に地域設定とホームCHスキャンを行う必要があります。設定した地域で受信できる放送局を調べ、ホームCHの“リモコン番号”に登録する操作です。

### 1 AV キーを押す

AVメニューを表示します。

### 2 DTV にタッチする

### 3 居住地域 にタッチする



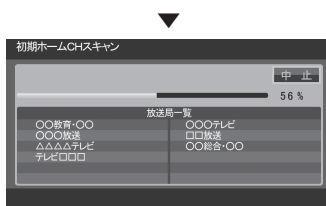
### 4 設定したい“地方”にタッチする



### 5 設定したい“都道府県”にタッチする



### 6 スキャン開始 にタッチする



ホームCHスキャンを開始します。

### お知らせ

- 受信状態によりしばらく時間がかかります。
- スキャン中に[中止]にタッチすると、中止します。
- スキャン中に中止した場合は、ホームCHへ登録される放送局が少なくなる場合があります。

### 7 完了 にタッチする

受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

### お知らせ

- ホームCHには最大12局まで登録することができます。
- [キャンセル]にタッチした場合はホームCHに登録されません。

## ■ 放送局を選ぶ

初期設定のスキャンで登録した放送局を選びます。

### 1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

### 2 見たい放送局の“リモコン番号”にタッチする



リモコン番号

選んだ放送局の番組を表示します。

# NAVI 機能を使う

## 探した場所を目的地に設定する

探した場所を目的地に設定する一連の操作を説明します。

### 1 NAVI キーを押す

NAVI メニューを表示します。

### 2 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す



### 3 探した場所が表示されたら 地点メニューにタッチする



## アドバイス

- 検索方法の種類によって、施設名や電話番号が表示されない場合があります。

### 4 ここへ行く にタッチする



### 5 案内開始 にタッチする



探した場所を目的地としたルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

## お知らせ

- 検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を [回避する] または [回避しない] をうながすテロップが表示されます。



- 長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。

# Flash エンドユーザーライセンス

本製品に組み込まれているソフトウェアには、Adobe Systems Incorporated、Adobe Systems Software Ireland Limited(“Adobe 社”)および BSQUARE Corporation(“BSQUARE 社”)が保有する Flash Lite ソフトウェア(本ソフトウェア)が含まれています。

本ソフトウェアは以下の条項にお客様が同意された場合にのみ、その条項に従って使用することができます。

## 1. 本ソフトウェアに関する禁止事項

- (1) 本ソフトウェアの複製および頒布を行わない。
- (2) 本ソフトウェアの改変、二次的著作物の作成を行わない。
- (3) 本ソフトウェアの逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブル及びその他人間が知覚可能な形態への変換を行わない。

## 2. 本ソフトウェアに係る免責および救済

- (1) Adobe 社、BSQUARE 社および三菱電機株式会社は、お客様が本ソフトウェアを使用することにより、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰的損害および派生的損害並びに、その他の損害が生じた場合であっても、免責されるものとします。
- (2) Adobe 社、BSQUARE 社および三菱電機株式会社は、本ソフトウェア品質並びに性能等を含み、一切について保証しないものとします。
- (3) 三菱電機株式会社がお客様に対して負う責任は、本製品の価格を上限とします。
- (4) お客様が本製品に関し請求できる救済手段は、三菱電機株式会社に対する返品および返金の請求のみであり上記以外の如何なる救済も請求できないものとします。

# ソフトウェアについて

## ■ オープンソースソフトウェア

### FreeType

Portions of this software are copyright 1996-2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 The FreeType Project ([www.freetype.org](http://www.freetype.org)). All rights reserved.

### LibJPEG

this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group

### EGL

Copyright © 1991-2000 Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved.  
<http://oss.sgi.com/projects/FreeB/>

## ■ Gracenote サービス

Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ :copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。Gracenote, CDDb, MusicID, MediaVOCS, Gracenote のロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および/またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。





本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」) などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的のみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第 3 者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用許諾が行われるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。

Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote 2013

# 仕様

ナビゲーションユニット		
受信周波数	1575.42MHz	
受信方式	パラレル 12 チャンネル	
受信感度	-130dBm	
測位更新時間	約 1 秒	
地図カード部	8GB	
オーディオ		
アンプ部	最大出力	45W × 4
	適合スピーカーインピーダンス	4 Ω
イコライザー部	7バンドグラフィックイコライザー	63/125/315/700/2k/4k/10k Hz 調整幅レベル：± 12dB
DVD プレーヤー部	対応ディスク	DVD-VIDEO、DVD ± R/RW*、 CD-DA、CD-R/RW(MP3、WMA、AAC フォーマット) ※)VR/CPRM フォーマット対応
	周波数特性	5Hz ~ 20,000Hz(CD-DA)
	S/N	85dB
	全高調波ひずみ率	0.05% 以下
FM/AM 部	受信周波数範囲	FM:76.0 ~ 90.0MHz AM:522 ~ 1629kHz
	実用感度	FM:12dBf AM:32dB μ
	S/N	FM:60dB IHF-A AM:50dB
	左右分離度	FM:20dB(1kHz)
地上デジタル TV 部*1	放送方式	地上デジタル放送方式(日本)
	受信チャンネル	13 ~ 62ch
	アンテナ	専用アンテナ
MusicFolder 部*2	形式	SD-Audio 規格
	S/N	85dB
	全高調波ひずみ率	0.05%以下
音楽用 SD カード部	対応容量	最大 32GB(SDHC 規格対応 /CPRM 対応)
	対応圧縮音声フォーマット	MP3、WMA、AAC
	S/N	85dB
	全高調波ひずみ率	0.05%以下
GPS アンテナ		
防水	防噴流仕様	
方式	マイクロストリップ平面アンテナ	

※ 1 一部の機種は、テレビ機能には対応しておりません。

※ 2 一部の機種は、MusicFolder の録音機能に対応しておりません。

モニター	
画面サイズ	7インチ WVGA
タッチパネル	抵抗感圧式アナログ (フィルム + ガラス)
外部接続	
外部入力 (RCA 1 系統)	映像 : NTSC 1.0Vp-p 音声 : 2.0Vrms MAX(1kHz)
カメラ入力 (RCA 1 系統)	映像 : NTSC 1.0Vp-p
電源・寸法・質量	
使用電源	DC13.2V( マイナスアース )
最大消費電流	MAX13A
動作温度	-10℃ ~ +55℃
外形寸法	約 幅 180 × 高さ 100 × 奥行 184mm
質量	約 3.3kg

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 使用電源が異常に低い場合や高い場合は内部回路保護のため、動作を停止または中断する場合があります。

# 保証とアフターサービス

## ■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入 < 販売店印 > < お買い上げ日 > および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 万一故障した場合の無償修理期間は、保証書に記載している期間に基づきます。

## ■ アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

保証期間中の修理は	▶	保証書の記載内容に基づいて修理いたします。 詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は	▶	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有償修理いたします。

- 三菱電機は各機器の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後 6 年間保有しています。
- 保証期間中の修理など、アフターサービスについて不明な点は、お買い上げ店にお申しつけください。



〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3 （東京ビル）

N871L70634 13-10